

令和6年度 経営改革プラン

団体名	株式会社神戸ウォーターフロント開発機構
-----	---------------------

設立年月日	令和3年5月31日	
団体の設立目的・沿革	<p>神戸港のウォーターフロントエリアは、「『港都 神戸』グランドデザイン」（平成23年3月策定）の土地利用方針及びその実現に向け、今後、概ね10年間で取り組むべき施策の方向性を示した「神戸ウォーターフロントビジョン」（令和4年12月策定）に沿って再開発を進めている。ウォーターフロントのまちづくりは広範囲かつ多岐にわたり、長期に及ぶことから、全体の将来像を踏まえつつ、多様な都市機能、統一感のある街並み形成を誘導する仕組みが重要となる。</p> <p>そのため、まちづくりに関わる多様な主体が一体となって、順次形成されるエリアのマネジメントや地域活性化等の先導的役割を担い、魅力的で持続性のある都心・ウォーターフロントの形成を目指すことを目的として、株式会社神戸ウォーターフロント開発機構を設立した。</p>	
団体の主な事業内容	事業名	所管局
	まちづくり事業 (まちづくりビジョン、エリアプロモーションの推進)	港湾局ウォーターフロント再開発推進課
	再開発事業 (事業要件の検討、事業実現に向けた取組み)	港湾局ウォーターフロント再開発推進課
	公共空間活用事業 (都市利便増進協定に基づく公共空間の管理運営、民間事業者により開催されるイベント等への協力等)	港湾局ウォーターフロント再開発推進課
代表者	代表取締役社長 岡口 憲義	

役職員数 (令和5年7月時点)	取締役		監査役		職員		合計
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	有期	無期	
団体固有職員	-	-	-	-	-	-	-
神戸市派遣職員	1	1	-	-	-	3	5
神戸市OB職員	1	-	-	-	-	-	1
その他	-	2	-	1	4	-	7
合計	2	3	-	1	4	3	13

財務状況（単位：百万円）	令和4年度	令和3年度	差引
経常損益	8	21	▲ 13
税引後当期純利益	4	14	▲ 10
販売費及び一般管理費	307	189	118
流動資産	221	220	1
流動負債	128	138	▲ 10
長期借入金（固定負債）	0	0	0
期末現金預金残高	87	180	▲ 93

■中長期的なミッション（神戸市行財政改革方針2025期間中のミッション）

ミッション①	魅力的で持続性のあるウォーターフロントの形成
ミッション②	自立的な経営モデルの確立
ミッション③	専門人材の確保による活力ある組織づくり

■短期的なミッション（令和6年度のミッション）

ミッション①	「新港エリアビジョン」を踏まえたまちづくり事業の推進
ミッション②	再開発事業及びエリアプロモーションの推進
ミッション③	自主事業の創出による収益確保

■経営指標（令和4年度）

経営指標				令和3年度	令和4年度	前年度比増減	令和3年度実績 中小企業実態基本調査 による業種別平均値
人的 パフ オー マン ス	職員 一人 あたり 純利益	純利益/職員数	職員1名あたりが、どの程度の利益を上げているか。(百万円)	2.338	0.747	▲1.6ポイント	0.250
	経常費用 人件費比率	人件費/経常費用×100%	経常費用に占める人件費の割合がどの程度あるか。	22.12%	19.87%	▲2.2ポイント	21.23%
財政 的 パフ オー マン ス	総資本 経常利益率	経常利益/総資本×100%	経常的な収益性はどの程度見込まれるか。	8.61%	3.34%	▲5.3ポイント	3.29%
	流動資産 回転率	売上高/流動資産×100%	流動的な資金が効率的に運用されているか。	94.12%	139.16%	45.0ポイント	177.51%
財政 安 定 性	流動比率	流動資産/流動負債×100%	短期的な資金をどの程度確保できているか。	159.24%	172.35%	13.1ポイント	158.77%
	自己資本 比率	自己資本/総資本×100%	団体固有の資本がどの程度あるか。	42.99%	44.91%	1.9ポイント	26.65%
持 続 性	自己資本当 期純利益率 (ROE)	当期純利益/純資産×100%	資本を効率的に運用しているかか。	13.48%	4.13%	▲9.4ポイント	10.29%
	純資産 増加率	(当期純資産-前期純資産)/ 当期純資産×100%	純資産が持続的に増加しているか。	100.00%	4.13%	▲95.9ポイント	19.89%

■ ミッション工程表

ミッション名		令和6年度						令和7年度～					
中長期的ミッション													
①	魅力的で持続性のあるウォーターフロントの形成	マーケット調査・分析から民間投資の誘発、事業実現に向けた取り組み及び再開発のマネジメント											
②	自立的な経営モデルの確立	公共空間、公共施設を活用した経営モデルの確立						自立的な経営モデルの確立					
③	専門人材の確保による活力ある組織づくり	専門人材の経験、ノウハウを生かした活力ある組織の形成											
ミッション名		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
短期的ミッション													
①	「新港エリアビジョン」を踏まえたまちづくり事業の推進	プロジェクトチームを中心とした、新港エリアビジョンの実現に向けた取り組みの推進											
		ウォーターフロントエリア全体の情報発信を一元的に行うウェブサイトの活用											
②	再開発事業及びエリアプロモーションの推進	リニューアル後の神戸ポートタワーの安定的な運営及び新たな事業展開の検討											
		次期再開発に関する事業要件の検討、事業実現に向けた取り組み											
		過去に実施したプロモーションの効果検証	検証に基づく効果的なプロモーションの実施										
③	自主事業の創出による収益確保	都市利便増進協定に基づく公共空間、公共施設の利活用											
		新たな自主事業の実施による確立した収益構造の構築に向けた検討											

■ ミッションを踏まえた団体目標

目標及び実現方法	団体目標	魅力的で持続性のあるウォーターフロントの形成 【KPI】観光客数（神戸港エリア）：700万人（令和7年）
		・地域の企業等との協働による再開発のマネジメント
		・官民連携の運営体制（民間人材の登用等）の構築
		・地域に密着した都市再生推進法人として、ウォーターフロントの公共空間の活用、広告収入の確保などによる自立的な経営モデルの確立
		・まちづくりやマーケティング等の専門人材の確保による活力ある組織の形成
		・リニューアル後の神戸ポートタワー運営や新港第2突堤基部倉庫跡地、税関南倉庫跡地などの次期再開発にかかる事業実現に向けた取り組みの推進
		・神戸空港の国際線就航や、大阪・関西万博の開催を見据えた、陸・海・空からの観光集客の強化、賑わいの創出

■ 市支援策の活用状況（令和5年度）

<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体共通内部通報窓口	<input type="checkbox"/> 経営懇談会	<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体職員向け研修	<input type="checkbox"/> 民間代替性調査
<input type="checkbox"/> 専門家紹介制度	<input type="checkbox"/> 経営診断	<input type="checkbox"/> 企業統治状況調査	